

備えて待つ

シリーズ～神の国～

2013/10/6

マタイ福音書25:1～13

「そこで、天の国は次のようにたとえられる。十人のおとめがそれぞれともし火を持って、花婿を迎えに出て行く。そのうちの五人は愚かで、五人は賢かった。愚かなおとめたちは、ともし火は持っていたが、油の用意をしていなかった。賢いおとめたちは、それぞれのともし火と一緒に、壺に油を入れて持っていた。ところが、花婿の来るのが遅れたので、皆眠気がさして眠り込んでしまった。真夜中に『花婿だ。迎えに出なさい』と叫ぶ声がした。

そこで、おとめたちは皆起きて、それぞれのともし火を整えた。愚かなおとめたちは、賢いおとめたちに言った。『油を分けてください。わたしたちのともし火は消えそうです。』賢いおとめたちは答えた。『分けてあげるほどはありません。それより、店に行って、自分の分を買って来なさい。』愚かなおとめたちが買いに行っている間に、花婿が到着して、用意のできている五人は、花婿と一緒に婚宴の席に入り、戸が閉められた。その後で、ほかのおとめたちも来て、『御主人様、御主人様、開けてください』と言った。しかし主人は、『はっきり言っておく。わたしはお前たちを知らない』と答えた。だから、目を覚ましていなさい。あなたがたは、その日、その時を知らないのだから。

やがて来る**本物**の神の国

- イエス・キリストによってもたらされた**最初の神の国**
 - 二千年前,キリストの教えと存在と行動,そして死と復活によって現れた神の国
 - 今もキリストの弟子たちによって拡大し,保たれている
- イエス・キリストは再びこの地に帰ってくる
 - 「行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻って来て、あなたがたをわたしのもとに迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる。」
〈ヨハネ福音書14:3〉
- 「再臨」のキリストは**本物の神の国の王**となられる

「再臨」の特徴

- キリストを待っている人たちの「花婿」として来られる
 - 「十人のおとめがそれぞれともし火を持って、花婿を迎えに出る行く」
 - 「キリストも、多くの人々の罪を負うためにただ一度身を献げられた後、二度目には、罪を負うためではなく、御自分を待望している人たちに、救いをもたらすために現れてくださるのです。」〈ヘブライ9:28〉
- 突然来られる。その時は誰にも分からない。
 - 「花婿の来るのが遅れたので、皆眠気がさして眠り込んでしまった。真夜中に『花婿だ。迎えに出なさい』と叫ぶ声があった。」
 - 「主の日は盗人のようにやって来ます。」〈2ペトロ3:10〉

ユダヤの結婚式

- 花婿(はなむこ)を迎えるおとめたち(ブライドメイド)
 - 聖書の時代,ユダヤでは夜,結婚式が行われた
 - 花嫁(はなよめ)の友人たちが,家の外で明かりを灯して花婿を迎えた
- 花婿の到着はしばしば遅れた
 - 花婿が遅れることが多かったので,「賢い」おとめたちは「予備の油」を用意していた
- 遅れた者は婚宴の席に入れてもらえない
 - 婚宴が始まってしまうと,妨害者や盗人の侵入を防ぐために扉を閉めてしまう



備えるべき油とは

「人の子は、栄光に輝いて天使たちを皆従えて来るとき、その栄光の座に着く。…そこで、王は右側にいる人たちに言う。『さあ、わたしの父に祝福された人たち、天地創造の時からお前たちのために用意されている国を受け継ぎなさい。お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせ、のどが渴いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからだ。』」〈25:31〜〉

備えるべき油とは

「人の子は、栄光に輝いて天使たちを皆従えて来るとき、その栄光のしるしを著す。そこで、王は右側にいる人たちに祝福された人たちに用意され、わたしが知っていたとき、裸のときに看取り、ときに訪ねてくれ」』 <25:31~>

**困っている人
を助ける
愛の行動**

賢く備える

- ともしび(ランプ)は小さい!
 - “余裕ができてから”では遅い
 - キリストが来られてからでは間に合わない
- 人の油は当てにできない
 - 自ら進んで貯えておかなければ
- 今、「神の国」建設に努めることが、やがて来る本物の「神の国」に備えることだ!
 - 「いいわけの油」を満たさないように!

